

# みんなの議会



## 稲刈り・長生き感謝祭

<b>第3回定例会</b> で決めたこと	2~3ページ
第3回臨時会	3~4ページ
委員会活動	4ページ
<b>いっぱんしつもん</b>	5~7ページ
わたしの一言・あとかき	8ページ

あったかす君



## 第3回定例会

# 保育所の延長保育に関する 条例制定

(午前7時30分及び午後6時より30分間延長)



北野保育園

第3回定例会は、9月13日から3日間の会期をもって開催されました。

町長の主要な動静について行政報告を受けたあと、3名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをたどりました。

そのほか、条例制定及び改正7件、一般会計・国民健康保険特別会計補正予算、教育委員会委員の選任同意について審議し、原案のとおり議決しました。

その他、平成17年度7会計の決算認定について審議し原案のとおり認定し閉会しました。

## 条例

・鷹栖町保育所の延長保育に関する条例

鷹栖、北野両保育所を、午前7時30分から午前8時まで、午後6時から午後6時30分までそれぞれ保育時間を延長する規定及び、利用者の負担を次のように定めました。

・午前7時30分から午前8時までの延長保育利用者

月額 1,200円

・午後6時から午後6時30分までの延長保育利用者

月額 1,200円

・午前7時30分から午前8時まで及び午後6時から午後6時30分までの延長保育利用者

月額 2,400円

・鷹栖町乳幼児医療費の助成に関する条例

・鷹栖町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例

・鷹栖町重度心身障害者医療費の助成に関する条例

・鷹栖町精神障害者医療費の助成に関する条例

・鷹栖町老人医療費の助成に関する条例

健康保険法、老人保健法及び障害者自立支援法等の改正による

り、各条例の文言を整理する改正です。

・鷹栖町国民健康保険条例

出産育児一時金を30万円から35万円に改正をしました。(平成18年10月1日施行)

## 補正予算

◆一般会計◆

歳入歳出予算に2,446万8千円を追加し、予算総額43億7,095万1千円になります。主な補正の内容は次のとおりです。

・民生費 106万円

・衛生費 938万円

・土木費 1,300万円

・教育費 103万円

その他、生ごみ堆肥化施設整備事業にかかる継続費(平成18年度～平成19年度)として1億2,930万円を可決しました。

◆国民健康保険特別会計◆

歳入歳出予算に4,313万3千円を追加し、予算総額7億9,222万7千円になります。

補正の主な内容は、保険財政共同安定化事業拠出金です。

## 決算

・平成17年度一般会計ほか5特

(別表) 平成17年度決算認定額 (単位:円)

会計	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	4,859,670,458	4,761,414,025	145,000	98,111,433	
特別会計	国民健康保険	825,387,325	761,642,695	0	63,744,630
	老人保健	935,914,607	933,248,764	0	2,665,843
	介護保険	538,355,974	506,797,917	0	31,558,057
	公共下水道事業	310,151,117	305,750,018	0	4,401,099
	公平委員会	11,660,991	11,279,356	0	381,635
	小計	2,621,470,014	2,518,718,750	0	102,751,264
合計	7,481,140,472	7,280,132,775	145,000	200,862,697	

別会計及び水道事業会計決算認定  
平成17年度の一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、上川支庁管内町村公平委員会特別会計及び水道事業会計の決算に監査委員の意見書をつけて審査した結果、「別表」に記載のとおり認定しました。

平成17年度 水道事業会計決算認定額

(別表) (単位:円)

区分	予算額	決算額
収益的収入	219,617,000	219,498,609
収益的支出	220,823,000	213,695,972
資本的収入	64,822,000	64,864,178
資本的支出	175,148,000	173,520,624

## その他

### ・教育委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の教育委員会委員の選任に同意しました。  
打本 厚史 氏(再任)

鷹栖町南2条1丁目

### ・療養病床の廃止・削減の中止等を求める意見書

「医療制度改革関連法」による療養病床の再編計画では、介護保険適用の療養病床が廃止され医療保険適用の療養病床も大幅に削減されるため、医療や介護を必要とする患者から治療の機会を奪うこととなります。このため、療養病床削減計画の中止・介護保険事業計画の見直しを強く求める意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

### ・季節労働者「特例一時金」の現行維持及び通年雇用の促進に関する意見書

多くの季節労働者が存在している北海道を考えると、「特例一時金」の廃止などは多くの季節労働者の生活をより不安にするばかりでなく、事業主をはじめ地域経済への大きな影響が懸念される。このことから「特例一時金」の存続及び通年雇用に移行できない労働者に対する新たな冬期雇用対策が図られるよう要望する意見書を可決し関係行政庁に提出しました。

第3回  
**臨時会**  
8月4日

### ・鷹栖町ふれあい農園の設置及び管理に関する条例

条例名の変更及び施設の管理を鷹栖町が実施し、その使用も続きについて定める改正です。

### ◆一般会計◆ 補正予算

次の債務負担行為の補正を可決しました。期間については平成19年度から平成22年度です。

・プラザ・クロス10管理委託事業  
限度額 1,092万円

・たかす丸山パークゴルフ場管理委託事業  
限度額 1,800万円

◆水道事業会計◆  
収益的支出は32万円を減額し、総額2億2,715万9千円になります。

資本的支出は1,794万7千円を追加し、総額1億7,498万4千円になります。  
補正の内容は、企業債の借り換えによるものです。

### ◆その他◆

公の施設に係る指定管理者の指定

次の3施設について、管理を行う指定管理者を定めました。指定する期間はいずれも、平成23年3月31日までです。

・プラザ・クロス10

鷹栖町南1条1丁目

鷹栖町商工会

会長 植西 辰義

・希望が丘ロッキョランド憩いの丘

鷹栖町17線13号

グループ 駄陽都舞

代表 高田 正

・たかす丸山パークゴルフ場  
鷹栖町23線17号

たかすパークゴルフ保全  
協会  
代表 山 西 勝 一

・**町道の廃止及び認定**  
町道21線道路の区域変更に伴い  
起点・終点の変更を行いました。

**全道町村議会広報研修会  
及び道内現地研修**

・日時 8月22日～23日  
・場所 札幌市及び栗山町

札幌市において全道町村議会  
広報研修会が行われ5人の議会  
報委員が研修に参加しました。

△**研修内容**▽

広報プランナー 和田雅之氏  
による議会報づくりの基本と疑  
問についての指導を受け、翌日



栗山町において、ごみ処理対策  
及びクローズド型最終処分場  
(屋根付処分場)等の研修を行  
いました。



**議会運営委員会**

9月8日

第3回定例会で審議する議案  
や意見書の取扱いなど議会運営  
について協議し、会期を3日間  
と決めました。

**総務常任委員会**

7月31日

第3回臨時会に提案される一  
般会計の補正予算及び指定管理  
者の指定について説明を受け、  
内容を審議したあと、町内の所  
管現地調査を実施しました。

9月6日

第3回定例会に提案される一  
般会計の補正予算、条例の改正

などについて説明を受け、内容  
を審議しました。

**民生文教常任委員会**

7月31日

第3回臨時会に提案される一  
般会計の補正予算、条例の改正  
などについて説明を受け、内容  
を審議しました。

8月18日

廃食用油によるパッカー車の  
稼動状況ほか町内の所管現地調  
査を実施しました。

9月4日

第3回定例会に提案される一  
般会計及び国保特別会計補正予  
算、条例の改正などについて説  
明を受け、内容を審議しました。

**産業建設常任委員会**

8月1日

第3回臨時会に提案される水  
道事業会計の補正予算について  
説明を受け、内容を審議したあ  
と、町内の所管現地調査を実施  
しました。

9月1日

第3回定例会に提案される一  
般会計の補正予算について説明  
を受け、内容を審議しました。

**議 会 日 程**

7 月

31日 議会報特別委員会  
24日 議会報特別委員会  
18日 民生文教常任委員会  
3日 総務常任委員会及び町内  
所管現地調査

8 月

1日 産業建設常任委員会及び  
町内所管現地調査  
2日 上川中央部市・町議会定  
例議長会議  
4日 第3回鷹栖町議会臨時会  
6日 北海道縦貫自動車道中心  
杭打ち式 (土別市)  
18日 民生文教常任委員会及び  
町内所管現地調査  
22日 北海道財務局主催「財政  
講演会」 (旭川市)  
26日 第24回24時間マラソン  
フットボール大会開会式  
27日 自衛隊旭川地方連絡部創  
立50周年記念祝賀会 (旭川市)

9 月

1日 産業建設常任委員会  
4日 民生文教常任委員会  
6日 総務常任委員会  
8日 議会運営委員会  
13日 第3回鷹栖町議会定例会  
14日 議会報特別委員会  
18日 第34回長生き感謝祭  
30日 第13回さっぽろ鷹栖会 (札幌市)

# いっぱんしつもん

こんなことを **聞** きました

**問** 図書室の整備と今後の運営は

**答** 質・量ともに充実した  
図書室にしたい

近藤 義紀 議員

近藤 義紀 議員

・図書室の整備と今後の運営は

青野 敏 議員

・放課後児童の受け入れ体制は

藤澤 孝夫 議員

・学校給食に新鮮で栄養価の高い鷹栖町産  
食材を

・保育環境について

利用は現在同様、火曜日から日曜日の午前8時半から午後6時までとなっており、方法については、自己管理による記帳方法を続けていきたいと考えています。

利用者の増加も見込まれますので、職員による対応、公民館主事、さらに図書ボランティアなど、地域の皆さんの支援をいただきながら、運営に努めていきたいと考えています。

質・量ともに充実した図書室を目指していきますので、多くの町民の方に利用されることを期待しています。

**質問**

教育長の執行方針の中で、図書室については、教育委員会が庁舎に移った後、本の読み聞かせや子どもの居場所などの施設として整備していくと述べていますが、内部はほぼ完成したと聞いています。

今後、図書室の蔵書内容はどの程度まで揃えるのか。

教育委員会が移転すると、人がいなくなりますが、運営・管理についてどのような方法で行っていくのか伺います。

**答弁 教育長**

教育委員会が庁舎に移転した後、子ども達の居場所づくりも含めて整備することで、公民館をはじめ関係者の皆さんと十分協議し、誰もが利用しやすい図書室として内装改修を進め、10月中にオープンしたいと考えています。

蔵書内容については、現在各地区公民館を含めて町全体で約34,000冊あり、そのうち児童書が11,000冊程です。予算的には、毎年100万円以上

を計上して、一般書・絵本等あわせて800冊程度購入しています。財政状況等もありますが、今後も継続していきたいと考えています。

年間の貸し出し冊数は約4,400冊で、大変少ない数字になっていますが、図書室を改善することにより、利用者の増加も見込まれますので、イベントなども検討しながら、蔵書の数だけではなく内容についても、皆さんの意見を聞いて揃えていきたいと考えています。

運営・管理ですが、貸し出し



新しくなった図書室

## 問

放課後児童の受け入れ体制は

## 答

総合的に検討する

青野 敏 議員

## 質問

本町の放課後児童クラブ「カントラモッチ」の開設は、平成6年4月より13名の児童を北野小学校、B&G海洋センターで受け入れたのが最初で、その後、平成7年5月に11線4号に拠点を移し、平成17年10月に建物を新築して、定員40名体制で運営をしています。

また、平成16年10月に旧母子健康センターを改修し、「なんたらモッチ」を定員60名体制で開設し、現在は両施設をNPO法人児童クラブ「なんたら・カントラ」で指導員3人体制にて運営している状況です。

近年の宅地造成による世帯数の増加と、保護者が労働などにより昼間家庭にいない児童数が増えたことにより、施設利用希望者が増加している中で、「なんたらモッチ」では待機児童が3名おり、ほかに希望者が数名

いるようですが、解消に向けての方策は。

次に、平成18年7月に行った今後の施設利用調査では、19年度22名、20年度26名、21年度14名が新たに希望するとの結果があります。

今の体制では希望者全員を受け入れることは難しいと考えますが、将来に向けての町長の考えを伺います。

## 答弁 町長

留守家庭の増加に伴い、放課後、子ども達が安全に過ごす場所を確保することから、施設を整備してきました。

施設の管理・運営は、父母も参加しているNPO法人児童クラブ「なんたら・カントラ」に委託していますが、町内ではほかに私立幼稚園で放課後児童を預かるサービスも行っています。「カントラモッチ」は施設の

的にシンフォニータウンの子ども達の動向によっては、今後を見極めていく必要があると考えています。また、「なんたらモッチ」では、待機児童や入園希望者が多く、希望者全員の受け入れが困難なのかと考えています。

今後、様々な課題について、NPO法人や父母と話を進めていきたいと考えています。

厚生労働省と文部科学省で「放課後子どもプラン」を策定しており、町では19年度までには総合的な放課後児童の方策を示したいと考えています。

## 問

学校給食に新鮮で栄養価の高い鷹栖町産食材を

鷹栖ならではのメニューづくりを

## 答

町長

町内消費は大変重要

藤澤 孝夫 議員

重要視されている「食」の教育の場です。

子ども時代の食習慣は一生を左右する程の教育効果があると

言われています。地場産給食に対し、国は食育推進基本計画の推進目標で、平

## 質問

最近、「朝食を食べず、夕食はカップ麺、おやつはコーラやお菓子類をたくさん」という、豊かな日本で貧しい食が蔓延しているなかで、学校給食は最も



放課後児童クラブ「なんたらモッチ」

成22年度までに学校給食の食材使用割合を都道府県内産品30%にすることをうたっています。

鷹栖町学校給食の町内産野菜は、食材料費全体に対し、金額対比で、平成16年度が1.6%、平成17年度が1.7%でした。

鷹栖町産の食材を多くするためには、生産者側の計画生産と学校給食の計画的な献立が一体とならなければなりません。

生産者の中には、提案があれば実施する意欲のある方が多くいます。

学校給食に新鮮で栄養価の高い鷹栖町産食材を多く取り入れ、将来を担う子ども達の発育を支えることは、食育を司る行政の仕事であると考えますが、町長はどのように実行していくのか伺います。

また、鷹栖町産の食材を多く取り入れることにより、特色のある献立になることも想定されますが、すでに計画されている献立を変更することは可能なのか教育長に伺います。

### 答弁 教育長

学校給食における地元食材の利用については、特に平成18年度から、農業経営者同友会の協力を得ながら、野菜6品目を食

材に取り入れて進めています。

地場産野菜を取り入れることについては、給食時間における子ども達への指導をはじめ、学校給食だより等で、保護者に鷹栖町産食材の利用PR、あるいは食に対する意識を高める努力をしていますし、今後も継続して推進していきたいと考えています。

献立についても、鷹栖町産の食材の良さを活かしたメニューについて、栄養士が創意工夫をしながら作成しています。

### 答弁 町長

鷹栖町で生産されたものを町内で消費するということは大変重要なことなので、今までも色々な団体等に協力をいただき取り組みを進めてきており、今後一緒に続けていきたいと考えています。

ただ、町が中心になってやるのではなく、生産者自らが生産物を持っていくという視点が無ければ、限界があると考えます。

食育については、食生活全体を見直していくことを考えないと、学校給食への過重な期待になってしまうのではないかと考えています。



鷹栖町学校給食センター

## 問

保育環境について

## 答

当分は町が運営

### 質問

鷹栖町保育環境のあり方検討委員会から多くの課題が提起されました。その中の時間延長については今回実施されますが、まだ多くの課題が残されています。

平成18年度の入園児数は、鷹栖・北野保育所で167名、円山幼稚園で109名と、前年度対比で約17%増となっています。

今後の保育環境整備の考え方と、また、3歳児からの保育園民営化は白紙撤回するのか併せて伺います。

### 答弁 町長

「就学前子どもの総合的な子育てのあり方」については、父母の方からたくさん意見があり、平成17年9月から両保育園の父母の会や子育てセンターの利用者、関係団体の方など16名の委員の方で議論していただきました。

安心して父母が預けられる体制をどう作っていくかが大事だと思いますので、今後も検討していきたいと考えています。

保育園は、当分の間町が運営をしていく基本的な考えで取り組んでいます。財政的な問題もありますので、保護者や地域の方々の協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。



鷹栖に移住して二十数年、旭川への仕事が多かったため、仕事を辞めてから、鷹栖のことを知りたい、また、交流を深めたいとの思いから、4年前に老大に入学しました。1ヵ月に2度の講義があります。

町長の講義の中で、国の財政状況、道の財政状況、そして鷹栖の財政状況を話され、町が先頭になって節約できるところは節約し、町の発展につながるお話がありました。これも講義を聞く機会があったからこそと思い、勉強をし、節約に協力させていただこうと思いました。

昨年は、高齢化社会が進む中、過疎が進んでいる中で、鷹栖町は宅地造成で北野地区のシンフォニータウンも人口が増えて、特に子どもが増えているこということを話されました。

子どもが多く育つということは本当に心強いことだと思います。子ども達も、通学路で会うと笑顔で「こんにちは」と必ず声をかけてくれます。このような子どもが多く育つ、住み良い町をつくることを願っています。

## 町長の講義を受講して



田中 和子  
(北野東)

## 閉校になった校舎



勝見 次雄  
(37区)

私達の町にも、時代の流れとともに少子高齢化が進み、地元の小学校も閉校し、鷹栖町へ統合となりました。近所には子どもの姿もなくなり、残っている人は私達世代と親達です。それに、閉校になった校舎です。

閉校後の使用方法等、未だにみつかっていません。地元でも何度か会合してはおりますが、これといった決め手もなく、現在に至っています。

ここで声を大にしてお願いがあります。

町長さんをはじめ、町の議会議員さん、良い考えがありましたらお知らせ願います。

閉校してからもう数年経っていますし、管理のほうも大変だと思います。一日も早い答えがほしいです。

● わたしの一言

● 日頃思っていること



錦秋の候、大豊作の出来秋の収穫も無事に終わり、木枯らしが身に凍みる季節になりました。

..みんなの議会“124号をお届けします。

今9月定例会では、3名の議員による一般質問、町よりの提出案件及び、教育委員会委員の選任同意、意見書の採択及び平成17年度一般会計・5特別会計の決算認定審査等を審議して議決しました。

今年は、春先の日照不足が心配されましたが、夏以降は暖かい天候に恵まれて、稲作をはじめとする農作物全般が大豊作となり、農家の皆様はもとより町全体にとっても嬉しい年になりました。

今後も議会報を通じて、議会活動等を伝えて参りますので、ご愛読お願いします。

最後に、わたしの一言にご寄稿くださいました、

勝見次雄さん  
田中和子さん  
ありがとうございました。

編集委員一同